

令和7年度第1回金沢市食品ロス削減推進協議会議事要旨

◇日 時 令和7年5月29日（木） 10:00～11:30

◇場 所 第二本庁舎2階 2203会議室

◇出席者 (順不同、敬称略)

会長 池本 良子 (金沢大学名誉教授)
今井 喜久子 (市民公募)
上田 久美子 (金沢市校下婦人会連絡協議会副会長)
楠部 孝誠 (NPO法人いしかわフードバンク・ネット)
杉山 朋美 (北陸大学薬学部准教授)
橋 宏和 (市民公募)
中村 明仁 (金沢市旅館ホテル協同組合)
鍋島 盛雄 (石川県飲食業生活衛生同業組合理事長)
西田 哲次 (金沢商工会議所常務理事)
林 貴江 (石川県生活学校連絡会)
平野 愛子 (環境にやさしい買い物のまち・かなざわ共創協議会)
宮野 義隆 (石川県農業法人協会常務理事)

(欠席者)

副会長 田中 弘美 (北陸学院大学健康科学部教授)
志賀 嘉子 (一般社団法人石川県食品協会)
鍛治 一雄 (石川県スーパーマーケット連絡協議会代表幹事)

事務局 越山 充 (金沢市環境局長)
三傳 敏一 (金沢市環境局ゼロカーボンシティ推進課長)
杏谷 英恵 (同 課長補佐)
坂本 秋子 (同 課企画庶務係長)
田中 久範 (金沢市環境局ごみ減量推進課家庭ごみ対策係長)
河原 優里菜 (金沢市環境局ゼロカーボンシティ推進課主任)
坂本 和奏 (同 主事)

◇会議次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 令和6年度食品ロス削減推進事業報告
 - (2) 令和7年度食品ロス削減推進事業（案）
 - (3) 金沢市食品ロス削減推進計画の改定について
3. その他
4. 閉会

越 山 局 長	<p>【1. 開会】</p> <p>＜局長あいさつ＞</p> <p>委員の皆様方には、お忙しい中ご出席を賜り、厚く御礼を申し上げる。また、日頃から本市の環境行政に格別のご協力とご理解を賜り、重ねて感謝を申し上げる。</p> <p>さて、本市では令和2年3月に「ゼロカーボンシティかなざわ」を宣言し、再生可能エネルギーの導入促進、食品ロスの削減、ごみの減量化・資源化などに取り組んでおり、本年4月からは、これまで燃やすごみとして回収していた製品プラスチックの分別収集・資源化を開始したところである。</p> <p>令和3年度から10年間を計画期間とする「金沢市食品ロス削減推進計画」も中間年を迎える。これまで市民、事業者との協働により食品ロス削減に向けたさまざまな事業に取り組んできた。一方、国では令和7年3月に第2次食品ロス削減基本方針を閣議決定したところである。そこで、本市においても今年度、これまでの計画を見直し、新たな数値目標を設定するとともに、食品ロス削減等の対策強化を図っていく所存である。</p> <p>なお、今年度は、任期の更新に伴い、新たな委員をお迎えしている。すべての皆様のお力をお借りしながら、本計画の基本理念で掲げている「食べ物の”もったいない”がないまち」の実現に向け、取組を進めて参りたいと考えている。</p> <p>本日は、昨年度の事業結果の報告や今年度の事業計画案、また食品ロス削減推進計画の改定方針案等について、事務局から説明させていただく。限られた時間ではあるが、委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただく。本日はよろしくお願い申し上げる。</p> <p>【委員紹介】</p> <p>【役員の選出】</p> <p>(委員の互選により、会長が池本委員、副会長が田中委員に決定)</p> <p>会 長 会長あいさつ</p> <p>本日は出席率が非常に高く、令和7年度の良いスタートが切れるのではないかと思う。今ほどこちらの会場に向かう時に兼六園の周りを通ったところ、たくさんの外国人の方、修学旅行の学生が通っており、やはり金沢は人気だと感じた。</p> <p>食品ロスは、経済状況のこともありますが、皆さんの努力でかなり減ってきており、また、プラスチックの分別収集も開始したということで、ごみの焼却量も大分減ってきているそうである。インバウンドの影響が今後どのようになるかも気になるところであるので、そのことも見据えながら、食品ロスの削減に取り組んでいかなければならない。引き続きご協力のほどお願い申し上げる。</p>
---------	--

	<p>【2. 議事】</p> <p>(1) 令和6年度食品ロス削減推進事業報告</p>
事務局	(資料1をもとに説明)
委員	<p>幼児向けの出前講座で紙芝居を行ったとのことだが、その紙芝居はどのようなものか。</p> <p>また、生ごみの循環システムによる堆肥の回収についても教えていただきたい。回収ができるというのはとても素晴らしいことだが、その回収した肥料の行方について教えていただきたい。</p>
事務局	<p>出前講座については、金沢市内の保育所等々154園ほどに募集をかけて、昨年度は54園で実施した。紙芝居には「物を大事にする」、「食べ物を大事にする」というテーマ等、3種類ある。カリキュラムの中で、先生方に選んでもらい、昨年度は保育園25園が、食品ロスに関する紙芝居を希望された。</p> <p>また、堆肥の回収について回答させていただく。一般の方々が持ち込むことができる堆肥の回収取扱店が市内に8ヶ所あり、そこで回収した堆肥を中間処理業者に渡し、市民農園等々で活用させていただいている。</p>
委員	紙芝居は、金沢市の独自のものか。それともネットに載っているのか。自分たちが見ることはできるか。
事務局	北陸学院大学と連携し、市からこういうテーマで作成して貰いとお願いしたうえで、学生の独自のアイディアで作っているものになる。
会長	Webに載っているのか。
事務局	Webにはまだ載っていない。
委員	国も子供用の紙芝居等を用意しているかと思うが、金沢市独自の紙芝居があり、それを利用されているということでよいか。
事務局	その通りである。
委員	若年層、子どもへの周知啓発について質問したい。子ども向けはこれまで継続的にイベントを実施していると思うが、20代前後の若年者への啓発について具体的な案があれば教えていただきたい。
事務局	<p>親子を対象にということで、若いお父さん、お母さん、子どもを対象にした食材使い切り教室は実施している。</p> <p>出前講座では、子どもを対象に実施することが多いが、今回、若年者と言われる層を対象にした講座についても、ご意見をいただいたので、検討</p>

	したい。
会長	工大との連携事業の中で、学生に食品ロスについて考えてもらうということをしているので、これも若年層への周知啓発の1つかなと思う。
	(2) 令和7年度食品ロス削減推進事業計画案
事務局	(資料2をもとに説明)
委員	<p>かねてから繰り返しこの会議で申し上げているが、この食品ロス削減のための事業には、やはり事業者の関わりが大きいと思う。経済局との連携については、会議資料中の事業報告、計画の中に書かれていない。いいね食べきり推進店にしても、講習会のときにPRするというのは効果的なことだろうと思うが・・・。商店街を構成する業種でも飲食店はかなり大きいので、経済局と協力して、商店街連盟にお願いするべきだと思う。</p> <p>例えば総会の時に、食品ロス削減事業の周知をするなど、地道なこととしていく必要があると思うので、ぜひ実施していただきたい。金沢商工会議所の事業の重点項目の中にも、「環境にやさしい企業の経営支援」も入れているので、ぜひこの食品ロス削減事業についても、経済局との連携を入れていただきたいと思う。</p>
会長	次期計画をつくる中で、そのようなことも盛り込んでもらいたいと思う。またアンケート等で様々な企業にご協力いただかないといけないので、ぜひ検討をお願いしたい。
事務局	ゼロカーボンシティ推進本部というものが市役所の中に、庁内横断組織として存在する。市長をトップとして、それぞれすべての局の局長を構成メンバーとしている。その中で食品ロス削減についての取り組み等もゼロカーボンにつながるということで議題に上がっている。庁内全体で、そういった意識を共有しながら、この事業を取り組んでいる。また各局横断での取組も計画に盛り込むということを念頭に置きながら考えていきたい。
委員	<p>意識共有も大切だが、具体的にどうするかということを計画に落とし込まなければならないと思う。情報共有は勿論のこと、行動計画の中に盛り込むために、経済局が担う部分等を相談するべきである。</p> <p>今、インバウンドが増えているが、日本はどこでもごみ箱がないということで、それらを受け入れるための体制整備のため、観光政策課では商店街単位や町会単位で、ごみの引き取り事業のようなことを今年度から始めている。観光対策ではあるが、ごみの問題を経済局の取組として実施しているので、そのようなことも含めて、具体的な行動を計画の中に盛り込んで、連携をしていただきたいと思う。</p>
事務局	承知した。

会長	<p>今年度のバスツアーやすごろく等について、前回の会議でも意見が出たが、このような方向性でよろしいか。</p> <p>すごろくに関して、難しいかもしないが、工大の学生が工大連携プロジェクトの中で提案したものなので、学生の意見を聞いて市が作るのではなく、学生に参加してもらって市と一緒に作り上げることができれば、アピール性のある事業になるのではないか。今年のプロジェクトデザイン、次のプロジェクトデザインの中でもいいので、プロジェクトデザインのコーディネーターの先生に相談してみるとかもいいかもしない。できなければ仕方ないが、プロジェクトデザインは工大も力を入れて取り組んでいる事業なので、何か上手くいく方向性はないかなと思う。上手く進めれば、単純なすごろくではない、横浜市や愛知県にあるようなものではないものができるかもしないと思う。</p> <p>バスツアーについては、料理教室をするということで、先生に来ていただくということか。</p>
事務局	市が実施している環境出前講座でも、同じ食品ロスの削減ということで、飾り巻きずし作りをお願いしている先生がいらっしゃるので、食品ロス削減バスツアーの中でも同様に実施したいと考えている。
委員	弊社でも出張授業をしている。金沢は出張授業が多いエリアで開催数は全国1位である。学ぶ意欲が高い人が多いと思っているのだが、募集方法や定員超えた場合について教えてほしい。
事務局	募集方法について、今年はできるだけ紙を配らない方向でできればと思っている。今のところ、ホームページや新聞広報への掲載、学校、児童クラブへのメール、ごみ分別アプリの通知機能を使って、イベントの募集案内をしたいと考えている。昨年はあまり募集が殺到したということはなかったので、先着順を想定している。定員に達さなかった場合は、周辺の学校にチラシを配布することも検討している。
会長	夏休みなので、子供を連れていくにはいい機会ということで、人は集まると思う。
事務局	昨年は9月8日に実施し、なかなか思うように人が集まらなかつた。今年度については、夏休み期間であり、市役所の各部局でも同じような親子、体験といったテーマでイベント等を開催しているので、相乗効果があればと思う。紙を配らずに、SNS等を最大限に活用して周知をしたいと思っている。
会長	どれくらいの人が集まるか、他の課で聞いてみたらいいと思う。
委員	夏休み期間の大学のイベントでは、100人の募集で300人応募がきたこともあるので、人は集まると思う。

委 員	市公式LINE を使ったらどうか。
事 務 局	集客力があるので、金沢市公式 LINE も可能であれば使いたいと思っているが、色々制限がある。活用できれば、集客的には全く問題ないかなと思う。
委 員	百万石祭りの玉姫と利常役の募集広告を市公式 LINE に出した際は、すごい数の応募が来た。
事 務 局	ゼロカーボンシティ推進課でも X 等、SNS は活用しているが、フォロワー数が LINE と比較して全然違う。市の公式 LINE は有効なので、活用できればとは思っている。
会 長	募集人数が 15 組 30 人というのは結構少ないとと思うので、先着順はやめるなど、募集方法を再度検討した方がいいかもしれない。応募して外れたということも出てくるかもしれない、そのあたりを検討してほしい。親子のイベントとしては面白そう。
事 務 局	承知した。
会 長	それでは皆様よろしいか。
一 同	了承。
(3) 金沢市食品ロス削減計画の改定について	
事 務 局	(資料 3 をもとに説明)
委 員	「てまえどり」や「持ち帰り」の認知度が低いので、市民アンケートには、周知目的でこの内容の設問を入れて、食品ロス削減に繋げていただきたい。
委 員	資料の改定方針のところで、次期計画は、令和 11 年度にごみ処理基本計画に統合を想定するとある。そもそもこの食品ロス削減計画は、他の市町では既存計画の一部に位置付けられているということだが、もともと既存計画の一部で良いとなっていたのか、別に作るべきということだったのか。金沢市では食文化などに力を入れているが、そういった経緯の中で統合しなければならない積極的理由は何か。
事 務 局	現在、金沢市の食品ロス削減計画の根拠となっているのは、食品ロス削減の推進に関する法律で、令和元年に制定された。それをもとにまず単体でごみ処理基本計画の下位計画という位置づけで策定をしたものである。現行の食品ロス削減計画の策定の際に、食品ロス削減の部分については、

		<p>ごみ処理基本計画第6期の改定時に、その一部に位置付けると明記されている。それを今回踏襲した形で統合する。そのような一部計画として位置付けられている自治体が多いといった側面もあった。</p> <p>ただ当初、計画の期間については、統合年次に合わせた計画を考えていたが、国の第二次基本方針で、2030年度までの数値目標ということが明示されたので、今回の計画についても、2030年度までを計画の期間として作成し、ごみ処理基本計画の改定に合わせてそこに組み入れるというスケジュールで行いたいと考えている。</p>
会 委 事 会 委 事 会 委 事 会	長 員 務 長 員 務 長 員 務 長	<p>食品ロスの削減に関して、家庭系については大分進んできたのでと書いてくださればまだ積極的だと思いましたが。</p> <p>金沢市の場合は、食文化や加賀料理を推している面もあるので、そういった背景があると、名前は食品ロス削減推進計画ではあるが、金沢らしい計画になると思う。</p> <p>今回の計画の改定についても、ご指摘があったように、食文化条例などと整合性がとれた、金沢らしい食品ロス対策を打ち出していきたいと思う。</p> <p>次に統合するときに、ごみ処理基本計画の中で、ほんの一部を食品ロス計画にするのではなく、副題をつけるなど、目指すべき目標を設定する際に食品ロスのことを考慮した統合の仕方を考えていただくとよいと思う。</p> <p>事業者アンケートについて、生産者の廃棄は食品ロスには入っていない。アンケートをお願いされるとても、質問に関して説明して周知しないといけないので、どう考えているのか。</p> <p>またアンケートについて、市民、消費者の削減に取り組む消費者の割合を80%とするという目標に対して、eモニターを登録している市民250人というスケールのアンケートで大丈夫なのか。</p> <p>今回の資料はあくまでも例示・共通項目として挙げている。実際にアンケートになれば、ある程度共通の項目、あとは個別でその事業者等の特性に応じた個別の項目を皆様方に相談確認しながらやっていきたい。</p> <p>また、認知割合の80%については国の基本的な方針の数値目標として定めているものである。計画を策定するためのアンケートについては、消費者、一般市民関係はeモニターを活用して行いたい。目標の達成具合については、別途改めてその時期にアンケートをとる必要がある。その際は対象数を統計学的に出して行うことが必要だと考えている。</p> <p>eモニターに関しては、アンケートをeモニター対象に行うと既に認知度80%を超えた数字が出ると思う。なので計画策定時にそれ以上の目標をつくるのか。</p>

事務局	eモニターはどちらかというと意識の高い方が登録されている。当然、計画策定後のアンケートについては、無作為抽出でのアンケートで数値目標の達成状況を正確に把握したいと思う。国の計画に応じて、同様の目標値設定をするなら確認をしないといけない。
委員	eモニター登録の250名にアンケートをとる意味があるか。簡単にとれるからここでとる、ある意味出来レースではないかと思うが。後に無作為抽出でやるのであれば先にやればいいのではないかと思う。
会長	国の目標の80%も、何をもって設定したのかと思う。
委員	アンケートで何をするか意図が見えない。計画策定の何に参考にするとか、集計した結果をどう反映させるかが見えない。「とりました、こうでした、おしまい」という感じで今のところ意図が見えない。こういった政策をするからその是非を事前に調べるとかなら分かるが。
事務局	アンケートの設問については、今回いただいた意見を参考に、事務局で改めて検討させていただきたい。
委員	アンケート調査の結果を計画に反映するという意図が見えないが。
事務局	現行の計画でもアンケートの結果から、例えばフードドライブの拡充につながったように、アンケートを活かして課題が分かったものについては施策への反映などにも利用している。また同様のアンケートは前回の計画策定時にも行っているので、比較も可能。今回も施策につながるような項目を設定したいと思う。
委員	なおさら、eモニターの方は俯瞰でみれる方が多いだろうし、当然食品ロスに取り組んでいる方は多いと思う。しかし、私たちがゼロからイチにしてほしい方の意見とは違う意見をお持ちではないかと思う。食品ロスを考えるのであれば、本当に食品ロスに全く興味がない人にアンケートをとってマーケティングとすればよいと思う。
事務局	環境局に限らず他の局でもそういう制度を活用したアンケート調査を実際に実施している。意見もいただいたので、実際のアンケートの対象者についてもeモニターも含めて一般の方にも聞けるような方法を検討してみたい。
会長	生産者の食品ロスに関して統計上は入っていないことだが、統計上の定義は分からぬが、金沢市としてこうやって協議会に生産者に来ていただいて、またバスツアーでも生産の現場から見ていただくということをされているので、金沢市としても生産者の方のところで出る食品ロスを含めて削減していきたいという意図だと思っている。そこを食品ロスの削減

	計画の中にどうやって位置付けるか、法律上のものと違ってくるので難しい面があるが、うまく集約して、そういうところにも取り組んでいるという金沢市の姿勢をみせておくのがいいかと思う。それなら生産者側のアンケートをとる意味が出てくるので、検討してほしい。
委 員	事業者のアンケートだが、この協議会には色々な所属団体から委員を出していただいているので、これらの団体を通じてアンケートができるよう協力いただだと非常に幅広い意見が聞けると思う。こちらも検討してほしい。
事 務 局	事業者の方は皆さん忙しいので、業種別に設問を絞るなど、短時間で回答できるようにすれば良いと思う。そうすることで、回収率も上がると思う。
委 員	アンケートを実施する前には、業種別の設問については、皆様方に個別に相談させていただきたいと思っているので、その際はよろしくお願ひ申し上げる。
委 員	資料の事業者アンケートの設問案は、あまりにも事業者を一括りにしきぎである。飲食業、小売業等、業種をより細かく分類してアンケートを作成していただきたい。
事 務 局	それぞれの業界、形態に合わせたアンケートを作成していきたいので、皆様方にはご協力のほどお願ひしたい。
会 長	業種ごとにアンケートを作成するのではなく、ヒアリングでもよいのではとも思う。次期計画で事業系食品ロス削減のために、どのような取組ができるのか、他の自治体の施策も調査したうえで、検討いただきたい。
委 員	昨年度2回目の協議会でバスツアについて紛糾した覚えがあるが、そこで出た意見等を受けて改善されていないように感じる。僕はバスツアーフ否定派であるが、昨年の意見がどう反映されているのか教えていただきたい。
事 務 局	昨年度からの改善点と言わると答えにくいが、訪問先の事業者と調整する中で昨年度と同様の内容になっている。
委 員	バスツアーハは参加人数が30人だけであり、経費と事務量を考えるとコスパが悪い。また、バスツアーハ一過性の取組であり、継続性がない。昨年度も、継続的な取組につなげていく最初のアクションとして、バスツアーハ違うのではないかとの意見もあった。コスパが悪いと思うがどうか。
会 長	昨年度と比較してより体験型ツアーハになったということで、ここで出た意見一部は取り入れられていると思う。今年度はこの方針で進めて、その

	効果を検証し、反省点を踏まえたうえで来年度の事業計画を立てていただくということいかがでしょうか。
委 員	どう検証するのか教えていただきたい。
事 務 局	バスツアー実施後に、参加者にアンケートを行い、改善点等を把握したいと考えている。コスパの話をするに、本来はより多くの人が参加できればと思うが、動画や写真をSNSにあげて周知することで、コスパの悪い部分を解消していかねばと考えている。
会 長	市が発信するのは当然として、参加した側からの発信をうまく活用してほしい。夏休みの課題として、情報発信してもらえるような仕組みづくりをすることで波及効果も期待できるのではないか。
事 務 局	承知した。
委 員	SNSの発信では、何人の人が食品ロスを認知し、行動へ移したかという検証ができない。バスツアーはコスパが悪いので、この事業をやるのかやらないのかという検証データをとらなくてはならない。コスパの悪い部分をSNSで解消しようというのはいかがなものか。 協議会の意見が今年度の事業内容に反映されていないことに憤っている。
会 長	事務局には次年度に向けて、この事業を継続するかどうかを判断する材料として何を使うかを考えていただき、令和8年度の計画に落とし込んでいただきたい。また、次期食品ロス削減計画の施策の中にどのように反映させるのかを考えていただきたい。 確かに、コスパは悪いがアピール性がある事業ではあると思っている。
委 員	食品ロス削減のために協力したいと思っているので、何でも聞いてほしい。
委 員	バスツアーは参加人数も少ないので、この事業の直接的効果は少ないと判断されても仕方ないが、例えば、テレビ局に食品ロス削減バスツアーの取組を取り上げてもらうなど、2次的な効果を狙うのもいいのではないか。チラシ配布やセミナー開催ではなく、市民参加型のツアーが報道されれば啓発という目的は達成できると思う。この事業の定量的な効果を図るのは難しいと思うので、戦略的にこの事業を生かして、どう食品ロスを周知していくかを工夫されたい。
	【3. その他案件はなし】

会長	事務局には、本日、委員から出された意見を十分参考にして、今年度の事業及び計画の改定を進めていただくようお願いする。改定案のメール審議については、情報共有を図りながら実施できればと思うので、よろしくお願いしたい。
事務局	長時間にわたり熱心にご協議いただき感謝申し上げる。 以上をもって、令和7年度第1回金沢市食品ロス削減推進協議会を閉会する。